

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成26年1月30日(2014.1.30)

【公表番号】特表2013-525130(P2013-525130A)

【公表日】平成25年6月20日(2013.6.20)

【年通号数】公開・登録公報2013-032

【出願番号】特願2013-508041(P2013-508041)

【国際特許分類】

B 24 D 3/00 (2006.01)

B 24 D 3/28 (2006.01)

B 24 D 3/14 (2006.01)

【F I】

B 24 D 3/00 3 3 0 E

B 24 D 3/00 3 3 0 D

B 24 D 3/28

B 24 D 3/14

B 24 D 3/00 3 4 0

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月5日(2013.12.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

結合剤内に保持されたセラミック成形研磨粒子を含む研磨物品であって、該セラミック成形研磨粒子が、6つの共通の縁部によって接合された4つの主面を有し、該4つの主面の1つ1つが、該4つの主面の他の3つと接触し、前記6つの共通の縁部が実質的に同じ長さである、研磨物品。

【請求項2】

加工品を研磨する方法であって、

請求項1に記載の研磨物品の前記セラミック成形研磨粒子の少なくとも一部を、加工品の表面と摩擦接触させる工程と、

前記加工品の前記表面の少なくとも一部を研磨するために、前記加工品又は前記研磨物品の少なくとも一方を動かす工程と、を含む方法。

【請求項3】

複数のセラミック成形研磨粒子であって、該セラミック成形研磨粒子が、6つの共通の縁部によって接合された4つの主面を有し、該4つの主面の1つ1つが、該4つの主面の他の3つと接触し、前記6つの共通の縁部が実質的に同じ長さであり、前記セラミック成形研磨粒子が、研磨工業規格の公称等級に適合する、複数のセラミック成形研磨粒子。

【請求項4】

セラミック成形研磨粒子の製造方法であって、

共通の頂点で交わる3つの凹面の壁を有する成形型の空洞に、セラミック前駆体分散体を導入する工程と、

前記セラミック前駆体分散体を乾燥し、これを前記空洞から取り出してセラミック成形研磨粒子前駆体を提供する工程と、

前記セラミック成形研磨粒子前駆体を仮焼する工程と、

前記仮焼したセラミック成形研磨粒子前駆体を焼結して、前記セラミック成形研磨粒子を提供する工程であって、

前記セラミック成形研磨粒子は、6つの共通の縁部によって接合された4つの主面を有し、該4つの主面の1つ1つが、該4つの主面の他の3つと接触し、前記4つの主面のうちの少なくとも3つが実質的に平坦であり、前記6つの共通の縁部が実質的に同じ長さである、工程と、

を含む方法。